

発行所  
新潟県中魚沼郡  
中里村公民館  
毎月1回 25日  
定価 1部 5円



私たちの村

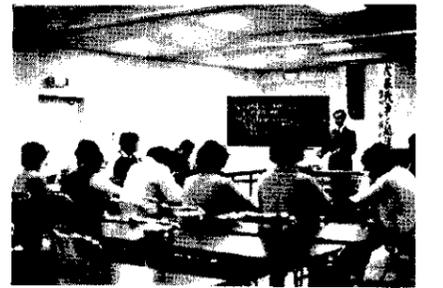
人口	7,242 (+8)
男	3,596 (+1)
女	3,646 (+7)
世帯数	1,656 (+1)

9月30日現在



10月

## 村民教養講座 11月のご案内



11月の村民教養講座は次の要領で開かれます。おさそいあわせてご参加下さい。

- ◎第3回  
11月12日(月)  
主題「戊辰戦争と越後」  
—その2—  
講師 剣持利夫さん  
時間 午後8時より  
会場 総合センター
- ◎第4回  
11月15日(木)  
主題「民謡の世界性と民間信仰」  
講師 水沢謙一さん  
時間 午後1時半より  
会場 総合センター

▽俳句  
裏切りの秋蝶の乱舞ふりむかず  
雲厚く吐息にゆうぐ釣舟草  
枯れそめし草木に我も日も暮し  
秋日差うかれしリスの標林  
もろこしの  
焼け汚れなき天近づけり  
澁もる野草しぶきは眞目にて  
茶の花や父の面影つれて咲く  
ふくろう鳴く宮森淋し神無月  
稲架倒し句題残して台風過ぐ

カウ  
大農機出揃う秋の彼岸晴  
おのえ  
終盤の選挙に秋の雨つづき  
深雪  
富士白う見えて空澄む枯野かな  
重夫  
時習  
遠くより手摘のお茶の屈ききて  
まどい豊かな香りをたてる

岳城  
たそがれに細き山道歩みなば  
足元白く野菊の咲きて  
海人  
六あけて魔除け人形喰む虫の  
木屑のおくのかなしみおもう  
廣田タマ子

斎子  
一人速く稼ぎて老い父の  
死水とれぬ朝を悲しき  
美紗  
手に刺さる棘の痛さも茄子をもぐ  
喜びとなる朝日の中に  
廣田真津  
さくさくと落葉踏む音好きと云う  
過去なる人の面影に頭つ  
山本ケン

### 中里文芸十月投稿

ひとりもの  
花りんどう折る気になれず  
独山  
▽短歌  
背を丸め曾孫と遊ぶ嬸の眩  
葵の花の下にかがやう  
たかはし  
当落を告げる放送きき終えて  
吾は埃りの中に白引く

◎産声  
氏名 父の名 部落  
黄 郁恵 顕宗 田中  
樋口 友香 寅次 小原  
山田久美子 茂 桂  
山田かずみ 繁雄 東田尻  
井ノ川照美 茂男 田中  
大島 巧 利次 荒屋

◎昇天  
氏名 年令 部落  
山田 豊吉 (65) 東田尻  
高野 トク (85) 芋沢  
村山ひろみ (84) 山崎  
桑原 清吉 (84) 小出  
樋口 マサ (83) 桂  
中島 正男 (83) 堀之内  
渡邊 コマ (82) 高道山  
保坂 義房 (81) 芋沢

### 東北電力より 作業停電のお知らせ

十一月十三日と十五日の両日、作業のため次の地区で停電となりますのでご注意下さい。

- ◎十一月十三日(火)  
午前八時～十一時半まで  
倉俣 芋川 重地 下山 田代 清田山
- ◎同日、午後一時～四時まで  
朴木沢新田 市之越 白羽毛 鷹羽 程島 東田尻 西田尻 西方 角間 窪沢 小出 土倉 倉下 清津峡温泉。
- ◎十一月十五日(木)  
午後一時半～四時まで  
芋沢 田沢本村 東田尻 豊里 如来寺の一部

### 人生往来

氏名	父の名	部落
山田 豊吉	トク	東田尻
高野 トク	トク	芋沢
村山ひろみ	ひろみ	山崎
桑原 清吉	清吉	小出
樋口 マサ	マサ	桂
中島 正男	正男	堀之内
渡邊 コマ	コマ	高道山
保坂 義房	義房	芋沢

善意をありがとう  
小出の桑原秀丸さんより故父桑原清吉さんの香代返しとして村の社会福祉協議会に十万円寄付がされました。

### 11月の休日急救医

日	急救医	連絡先
十一月三日(日)	山口医院	袋町中 電二二二七四
十一月四日(月)	富田医院	神明町 電二二二六九
十一月五日(火)	庭野医院	神明町 電二二二七一
十一月六日(水)	中条病院	北原 電七三〇一八
十一月七日(木)	大島医院	川原町 電二二九五七
十一月八日(金)	山口医院	中央通り 電五二〇〇三

深まる秋。  
美しい山里の  
たたずまい。

まわりの紅葉が一段と色鮮やかさを増してきた。  
おくれた農作業も一段落。  
やわらかい日ざしの中にゆらぐ、ぬか焼きの煙が、深まりゆく秋を感じさせる。  
県境の山に初雪がくるのもあとわずか。  
季節のかわりめのつかの間のたたずまい……。歩いてみませんか。  
山里の美しい自然の中を。

# 十日町地域

## 各界友好訪中団と共に 中国を視察して(3)

### 団長 上村賢造

七月十日太原駅より石家荘に向う。山西省と河北省との間に、これ又日支事変当時、幾度となく報道された太行山脈があります。このトンネルを抜けると、河北省の石家荘に到着することになります。われわれの列車は軟座車といつて一等車、他は硬座車といつて二等車になっております。

太原—石家荘間は急行で五時間を要します。太原—石家荘間の石太線はロンヤの会社が、フランスの資本で建設したもので、片側通路の立派な汽車でした。燃料は石炭で、Sの堂々たる機関車でした。車中で中食となり、アルコールは各自負担ですので、鞆の中を探したけれど財布が見当たらないので、吃驚し、一時は気を失うような思いをされた方もありました。案内者から太原のホテルに連絡して貰ったところ、翌日無事届けてくれましたので、ほっと胸を撫でおろした次第です。中国には盗人はいないと聞かされていましたが、

戦後徳育の然らしむところか、ホテルの部屋も錠をかける必要はありませんでした。そのような治安のところにいかかわらず、平素の癖で、財布を引出しに入れ、錠をかけ、鍵だけ持って肝心の財布を忘れて来たというお粗末の一端。又他にも財布を忘れたり、買った品物をそのまま店に忘れたりした方々もおりましたが、いづれも無事戻りましたので、先ずは安心ということでした。外国旅行中金を失くしたのではたまりません。

石家荘は河北省の省都で人口八十五万余、省の西南部に位置し、西方には前記太行山脈が走り、東・南・北の三方には豊かな河北平野が見渡す限り広がっています。ここは鉄道の交差点で、華北地区の交通上の要衝の一つです。このような要衝を占有する否とでは戦路上多大の影響がありますので、住時の戦闘に於ては攻防の激しかった土地でありました。

烈士陵園—革命戦争を含めて、第二次戦争の戦没者を祀る陵園であり、はじめ河北省の戦没者のみ七〇〇名余を祀りましたが、その後中国人、外国人等をも合祀しています。花環を擲げて戦没者のご冥福を祈りましたが、此処にはカナダ人医師ノーマン・ベチュエンの立像の墓があります。ベチュエンの医師はカナダ共産党員で、抗日戦争中、人民解放軍の前身である八路軍に軍医として参加、戦病死しましたが、毛主席は彼を「偉大な国際主義の戦士」として、その業績を讃えています。

ベチュエンの国際和平病院—前記ベチュエンの遺志をついで建設された陸軍病院です。従業員数九〇〇余名、ベット数八〇〇床、九科の診療に分れているが、東洋医学と、西洋医学の粋を取り入れて診療しているとのこと。特に東洋医学的(漢方医学)療養の理療科は独得で、按摩、針灸の實際診療を見せていただきましたが、患者はいずれも心地よさそうに按摩、針灸の治療をうけておりました。戦時中は医療班を組織して、各地に活躍された説明がありました。現在でも遊地には適時診療のため出向いている。病院ですので、医学専攻は当然であるが、国家目標

によって行動している。従って農場を経営し、穀物、野菜、果物、豚、牛乳など生産して、病院の消費に充てている。日本の病院とは大部違ったことを実践しています。かつては日本の若い医師が多勢この病院で研鑽したとのことでした。

「はだしの医者」—かつての中国の医療制度は、都市中心で、しかも旦那衆のために奉仕していて、広範な農民は医療を受けられない状態でした。文化大革命のなかで医療面が新しく改革され、都市大医院や大学病院の巡回診療班と、「はだしの医者」との合作医療制度が生れました。都市の病院の医師たちは、さかんに農山村に入り定住しはじめました。

人民公社の医療制度は新しい発展を迎え、公社には総合病院、生産大隊には診療所、生産隊には衛生員がいるといった制度となり、農村では地もと出身の中学卒業の男女の青年が「はだしの医者」として養成されています。六ヶ月八月の講習によって基礎的な医療衛生の知識と技術を身につけた「はだしの医者」は全国で一五〇万人もおります。そして普通生産大隊の診療所にいます。中国農村の

### 「二面から続く」

置を示し、人口七一〇万余。この天津も解放前までは、旧社会のあらゆるウミが溜った暗黒街で、享乐的な消費都市でした。

第二次アヘン戦争(一八五六—一八六〇年)後通商港として開港を余儀なくされ、以来九〇年間日本をふくむ外国帝国主義の侵略を受け、市内には八ヶ所もの広大な租界(治外法権)が設けられ、半植民地的な都市でありましたが、こうした屈辱の姿も一九四九年解放後、その面目を一新し、二十数年に及ぶ建設で都市改造が進み、今日の新しい社会主義の工、商業都市に発展しました。

メリヤス工場—大規模のメリヤス工場であつて製品の即売もしていました。従業員四、六〇〇人、うち女性二、二〇〇人、職場はメリヤス、捺染、仕上げ、機械部門に分れ、綿製品、ズボン、下着、ラニンング、テトロン生地などの生産で、三〇%輸出に向け、日本、アメリカ、香港、欧州など主な輸出先なり。日本の店頭にある中国産のメリヤス製品も或いは、この工場の製品であるかも知れません。天津三二中学校—太原、石家荘で見学するように計画してみたが、

いづれも夏休みに入っていたので見学できず、最後にこの三二中学校を見学することになった。

生徒数二、一〇〇名、先生一八〇名、丁度社会のテスト中でありましたが、相当難しい日本語を上手に回答しておりました。二年生の女子生徒で親が日本語の先生とかわれより歯切れのよい日本語を話すがいました。外国語は選択科目ですが三分の一位は日本語志望です。前記の女生徒に日本に來ないかと誘ってみました。日本は遠いし、旅費もありませんのでなど可憐いことを言っていました。ここにも附属幼稚園があり、温く歓迎してくれました。教育は義務教育ではないが、大抵の子弟は学校に入って勉強しております。ここでも中国共産党の教育に対する指導方針が確立し、実施されていることを痛感いたしました。

以上で全日程を終了し、同夜は天津飯店で謝恩会を催し、国際旅行社の人々にお礼を申し上げることができました。中国国际旅行社では、紅社の方が二人、十四日間われわれと行動を共にされ、更にそれぞれの地区では分社の方々がそれに加わって案内、説明をして下

## 消防設備士講習が開かれます

消防法の規定による消防設備士に対する消防用設備等の工事又は整備に関する講習が次の通り実施されます。講習時間はいずれも午前9時から午後5時までで、受講受付は11月10日(出)まで。受講案内及び申請用紙は役場総務課に用意してあります。

### 講習区分、講習日及び講習場所

回	講習区分	講習日	講習場所	予定人員
1	第 1/2 種	昭和54年12月3日(月)	新潟市	200人
2	第 4/5 種	昭和54年12月4日(火)	新潟市	200人
3	第 3 種	昭和54年12月5日(水)	新潟市	90人
4	第 3 種	昭和54年12月6日(木)	新潟市	90人
5	第 3 種	昭和54年12月7日(金)	長岡市	170人

さるといふ鄭重なる接待でありまして感謝のほかありません。翌十五日午前四時起床、荷物は五時までに整理して廊下に並べる。午前六時二五分天津駅発、二時間足らずで北京に到着、更に天壇公園を見学して、北京空港発十二時三十分イラン航空にて、四時間後成田空港着、最後出発するまで見送って下さった旅行社の方々の益々の御健祥を祈って止みません。税関、検閲など一時間余、迎えに来て下さった越後交通のバスに乗

車、春日部にて夕食、久し振りに日本の味を満喫し、翌十六日朝三時半頃全員無事帰郷、上々の首尾にて友好訪中の目的を達成することができ、心から祝福申し上げる次第なり。一名の事故者もなく、全員揃って行動でき、元気で帰国できたことは何よりでした。団員各位の自覚ある起居に対し敬意を表すると共に、御協力に対し厚く御礼を申し上げます。

## —ごくろうさまでした— 小松原に清掃登山

清津山の会では、今年も去る10月14日、恒例の「小松原清掃登山」を行ないました。過去の清掃の効果があらわれてか、例年よりも「ゴミ」は少なかったということでしたが、それでも参加者17名で、25kgものゴミを集めました。せっかく奇麗になりはじめた自然を再びよごしたくないものですね。



# 足どり軽く全員完走 — 村民健康マラソン ジョギング大会 —

久しぶりの好天に恵まれた去る十四日、二四〇名が参加して「村民健康マラソンジョギング大会」が開催された。参加者は年令別に分かれて2K、3K、5K、8Kのコースで健脚を競いましたが、今大会では女性ランナーの健闘ぶりが目立ちました。  
今大会の成績は別表の通りです。



応援して下さい。

## 「第二回」

### 婦人バレーボール大会

六月の第一回大会に続いて、第二回婦人バレーボール大会が開かれます。前大会に劣らぬ熱戦を期待してみんなで応援しましょう。

時 11月23日(勤労感謝の日)

午前八時半

所 田沢中学校体育館

参加申し込み

体育指導委員を通じて11月15日までに公民館へ。

- ◎中学生男子 (5K)
  - 1位 桑原 正美(倉俣中) 18分04秒
  - 2位 滝沢 智(倉俣中) 18分14秒
  - 3位 保坂 浩之(田沢中) 19分09秒
- ◎一般青年女子 (3K)
  - 1位 樋口 早苗(山崎) 13分23秒
  - 2位 南雲 恵子(堀之内) 15分17秒
  - 3位 池田いみ子(田中) 16分48秒
- ◎一般女子 (2K)
  - 1位 小林 裕美(芋川) 9分49秒
  - 2位 樋口マサ子(荒屋) 9分50秒
  - 3位 山本知代子(上山) 9分51秒
- ◎一般青年男子 (8K)
  - 1位 池田 博光(如来寺) 29分06秒
  - 2位 南雲 昇(堀之内) 31分57秒
  - 3位 中島 文彦(本屋敷) 33分44秒
- ◎一般成年男子 (5K)
  - 1位 鈴木 善雄(田中) 21分49秒
  - 2位 山本 健吉(山崎) 27分40秒
  - 3位 滝沢 勝己(田中) 29分23秒

- ◎小学生男子 (3K)
  - (1~3年生)
  - 1位 井ノ川高志(田沢小) 13分27秒
  - 2位 山本 国雄(田沢小) 13分39秒
  - 3位 大口 寿史(倉俣小) 13分40秒
  - (4~6年生)
  - 1位 滝沢 秀毅(田沢小) 11分39秒
  - 2位 井ノ川泰仁(貝野小) 11分48秒
  - 3位 高野英一郎(倉俣小) 11分49秒
- ◎小学生女子 (2K)
  - (1~3年生)
  - 1位 保坂みゆき(貝野小) 8分41秒
  - 2位 山西 千秋(倉俣小) 8分48秒
  - 3位 根津 朋美(倉俣小) 9分04秒
  - (4~6年生)
  - 1位 富井須磨子(田沢小) 7分56秒
  - 2位 渡辺 直美(高道山小) 7分57秒
  - 3位 高井和喜子(田沢小) 8分05秒

## 学校紹介 — 倉俣小学校 —



児童数 八八名  
教員数 九名

◎ 教育目標  
「すんで自分をきたえ、豊かな心を持って強く生きる子ども」。

### ◎ 学校の概要

清津橋のほとりから、なだいなる「へつり」を通り、名勝七ツ釜に向って進むと、程なくクリム色の鉄筋三階建の本校がある。清津川の右岸段丘の雄大な景観を前に、旧倉俣村唯一の文化の殿堂として、百有余年の伝統と歴史を秘めて、多くの功績を残してきた学校である。冬季には、二つの分校が設置される。

### ◎ 本校の特色ある活動

1、中学校と一貫した教育  
中学校が隣接し、PTAも数年前までは一つであったということ



「米飯給食のようす」

で、運動会、文化祭等の行事と、昨年開始された給食は、小・中学校一帯に行っている。特に給食は、小・中学校全員(一六五名)が、週四回の米飯給食を、同じ献立、同じ食堂で一緒に行っている。子ども達の仲のよきは格別で、よき兄弟、よき姉妹としてともに教え合い、励まし合って、楽しい学校生活を送っている。

うに小、中一貫した教育活動は、他に誇るべき特色の一つであろう。

### 2、基礎になる学力と体力

子どもに生きがいを持たせ、やる気を持たせるには、「できた」とか「やった」という喜びを持たせることが何より大切である。その基礎の一つは体力であると考え、本年度は始業前と業間体育に、学年に応じたマラソンを励行することにした。その成果は、学習のしかたや、水泳、陸上運動などのスポーツ面にもあらわれつつある。

### 3、勤労を体験させる学習

昨年、校舎の裏の休耕田を六〇アール借りて、全校で稲や

## 恩給の改善について

### のお知らせ

恩給法の一部を改正する法律に基づき、旧軍人等にかかるあなたの年金が改善されます。

現在受けている恩給、扶助料の年額が増額されるものについては次の請求改定となるものを除いて職権改定されますが、次の改善については請求の手續が必要です。該当する方は所定の請求手續を

野菜の栽培をしている。子ども達

は、農家に生れ育ちながら、土に

ふれたり、汗して働く機会を失っ

ている。この子ども達に、勤労の

尊さと喜び、生命の神秘さ、生き

ものを育てる喜びや苦しみを体験

させたいという願いで始めた。ひ

いては生命の大切さと、郷土を愛

する心を育てたいと考えている。

### ◎ 今後の学校運営

2は知育と体育であり、3は徳

育につながるものである。これか

らの世の中では、知、徳、体の平

均のとれた教育が大切である。そ

うしてこそ、他の地域の人々にひ

けをとらない人間が育ち、倉俣を

愛し、中里村に誇りを持つ村民に

なるものと思う。

行って下さい。

### 請求手續を必要とするもの

1 次の要件を備えた旧海軍の特務士官や準士官であった方の仮定

恩給の改善

(1) 下士官として在職していたことがある者。

(2) 昭和20年11月30日までの旧軍人としての実在職年数が普通恩給としての所要最短期間以上である者。

2 旧軍人等の加算年を年金額に反映させる年齢要件が「65才以上」から「60才以上」に引き下げられます。

### 旧軍人の一部恩給及び一時金について

旧軍人としての実在職年が3年以上ある方には現在一時恩給もしくは一時金が支給されておりますが、まだ未請求の方が相当あります。未請求者又はその遺族の方は次の事項を参考に、役場社会課へおたずね下さい。

○旧軍人の実在職年が引き続いて3年以上の人……一時恩給。

○旧軍人の実在職年が断続してあり、合計して3年以上の人……一時金。

薬は正しく使いましょう

薬の効果を生正しく発揮させ、しかも安全に使用するために使用時間、使用量、使用方法を守り正しい使い方をしましょう。